



トレンチで出土品などについて市職員から説明を受ける参加者

新発見の古墳に興奮

ちゅうすだけ
茶臼嶽古墳現地説明会

秦地区の地元住民が発見し、昨年古墳であることが判明した茶臼嶽古墳。4月6日から規模などを調べるため実施している確認調査の説明会が5月24日、同所で行われました。

当日は、市内外から歴史ファン198人が参加。トレンチ（試掘溝）から出土した土器片や葺石の状況を調査員が説明すると参加者からは質問が相次ぎ、関心の高さをうかがわせていました。

同古墳は調査の結果、全長が58.3m（55.4mとする意見もあり）と判明。断定は難しいものの、築造は3世紀末ごろと推定されています。今後、一帯にある一丁塚古墳群と合わせて県史跡の指定を目指していきます。

●ミニフォト

食育をもっと知って



栄養士からアドバイス

6月9日から12日まで、食育イベントが市役所1階ロビーで行われました。11日には栄養相談や野菜料理の試食会、機械を使った食事の栄養バランス評価も行われ、来庁者は普段の食生活について考えを新たにしていました。

世界3大ピアノでレッスン



指導を受ける子ども

スタインウェイを使ったピアノレッスンが5月23日と24日、市民会館で行われました。講師は元桐朋学園大学大学院教授の岩崎淑さん。受講した8人は真剣なまなざしで鍵盤に向かい、指導を受けていました。

生活に根ざした日本語を学ぶ



日本語で自己紹介をする

総社市在住の外国人のための日本語教室が6月14日、総社市保健センターで始まりました。初回は8か国の29人が参加。今後、日常生活で使う日本語やルール、コミュニケーションの取り方を学んでいきます。

100歳おめでとう



家族らに祝福される平田さん

平田静子さん（久米）が5月31日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。編み物が大好きだという平田さん。長寿の秘訣は、農業に従事し、体を動かしてきたことだそうです。

タンチョウの名前は「キビジ」



命名した3人の子ども

4月29日にきびじつるの里で誕生したタンチョウのヒナの命名式が6月6日、同所で行われました。応募総数696件から選ばれた名前は「キビジ」に決定。訪れた人は健やかな成長を願っていました。

まちなかに涼と潤いを



冷たい水に触れる

6月8日、市役所南交差点にある「まちかどの泉」で噴水が始まりました。同日、夏開き式が行われ、総社南幼稚園の園児約30人が参加。冷たい水の流れる音と水しぶきに夏の訪れを感じていました。

郷土の偉人に続け

第2回高木聖鶴児童生徒読書大会

高木聖鶴児童生徒読書大会の入賞作品が決定しました。大会には約180人が参加。関係者で審査を行った結果、高木聖鶴賞、市長賞、教育長賞にそれぞれ4作品と特選27作品の計39点が選ばれました。また、5月17日には総社吉備路文化館で表彰式が行われ、受賞者に賞状と記念品が贈られました。

主な受賞者は次のとおりです。〔敬称略〕
【高木聖鶴賞】佐田野峻介（新本小1年）、横田愛奈（常盤小3年）、平松瑞菜（総社西小5年）、片山芽生（総社中央小6年）【市長賞】小鍛冶慧奎（総社中央小2年）、櫻本ほのか（総社小5年）、若林莉子（清音小6年）、藤原菜々子（総社東中1年）【教育長賞】櫻本ゆめの（総社小2年）、平松美帆（総社西小3年）、加藤由雅（常盤小4年）、小河原佳南（総社東中3年）



高木聖鶴賞、市長賞、教育長賞の受賞者が高木聖鶴夫妻を囲み記念撮影



カルピス新設備で増産へ

新PETライン、自動倉庫の公開

真壁地内で操業しているカルピス(株)岡山工場で、3月から稼働を始めた新PETラインと自動倉庫が、6月15日に公開されました。

完成した新PETラインは、無菌状態でペットボトルの製造から商品の充てん、密封までを行うことができ、今まで委託していた炭酸飲料などの生産もできるようになります。また、グループ企業の商品の生産も手がけ、年間約2.3倍の増産を見込んでいます。



新設された新PETライン

サッカーを通じ人権を学ぶ



シャルムの選手と交流戦を楽しむ

維新小学校の児童19人を対象に人権スポーツふれあい教室を6月3日、同小学校で開催。女子サッカーチームFC吉備国際大Charmeを招き、選手の体験談やミニゲームを通して、児童は人権について理解を深めました。

新鮮なスイートコーンはいかが



朝採りスイートコーンを勧める

そうじゃ地食ベ公社が生産しているスイートコーンが5月26日、市内の地食ベコーナーにお目見えしました。品種はゴールドラッシュ。爽やかな甘さと、生でも食べられる粒皮の柔らかさが特徴です。

春の景色を描く



備中国分寺で写生をする子ども

吉備再発見写生大会が5月17日、備中国分寺や井山宝福寺など4会場で行われました。参加した子どもは思い思いの場所で風景を描写。水彩絵の具やクレヨンなどを使い、紙いっぱいに絵を描いていました。